

陸上競技(短距離)プログラム報告 2011年4月23日プログラム

日付: 2011 年 4 月 23 日 (土曜日)

分類: [手記](#)



福祉村の桜は終わりました。噴水池に浮かんでいた花筏も何時の間にか姿を消し、今は東の端の赤い花と西の端の黄色い花が妍を競っています。

赤い花は菊桃、別名源氏車です。赤いのに源氏って変ですか。いいえ少しも変じゃありません。この源氏は源氏物語の源氏ですから。

黄色い花は連翹です。何とも大陸的な香りのする名前ですが、それもその筈で、この名前は原産地の中国で使われていたものを、そのまま音読みにしているのです。

ですから『連翹』と書けば中国でも通じる筈ですよ。所が『そうは問屋が……』で、日本海(or 東シナ海)を渡る間に名前と本体に齟齬が生じ、中国で『連翹』と書けば、巴草か弟切草のことです。

今日の配布プリントは連翹で作りました。プリントの裏には今日の運動メニューも書き添えました。準備完了です。

準備は完了ですが天気は最悪です。天気予報では一日中雨で午前九時には7メートルの風まで吹きます。殆ど嵐です。案の定、アスリートの出足の悪いこと。陸上選手全員が走る2000M に参加したのはたったの4名。そのうち短距離選手は1名きりでした。

ミーティング後にログハウスへ移動して、其処でO君のリードで準備体操。それが終わると同所をスタート&ゴールとするウォーキングです。私はウォーキングのスタートを見届けてから自転車で北駐車場と薬用植物園の境界線、ジョギングコースからは一段下がったポイントに向かいました。連翹は其処に咲いているのです。

やがてトップグループが見えて来ました。コーチに引率されてコンパクトな一団となっています。と云うことで難なく私を見つけて一段下に下りて来ました。

其処で黄色い花を目の前にして『桜の咲く頃、葉よりも先に花が咲くこと。実に薬効が有る事等々』手短かに説明して先に行ってもらいました。と、これで終わらないのが今回の趣向です。私はこの後、自転車を飛ばしてサイクリングコースを東に向かい、前述の菊桃の横で一行を待ちました。

連中は難なく私に気付きました。連翹の黄色をしのぐ派手な赤い花に、嫌でも目が行ったと云うことでしょう。このことに関してO君は『コーチは連翹から此処に来ると思ってた』と言っていました。期待に沿えて結構でした(笑い)

ウォーキングの後は陸上選手全員(と言っても4名)参加の二千メートル。その後短距離グループ(と言っても阿久沢君一人)でクラウチングスタートのブラシアップをして、十一時二十分、雨にたたられたプログラムは参加者全員で早目の Let's Go SONS となりました。

中 村 泰 雄

注: 一部人名をイニシャルに変換して掲載しております。